

日本認知言語学会第8回全国大会プログラム 【1日目】

9月22日(土) 受付12時から

特別講演(12:30~14:30) 4号館 大ホール	講師 Professor Elizabeth Closs Traugott (スタンフォード大学名誉教授)
	演題 Constructional emergence from the perspective of grammaticalization: the case of pseudo-clefts

総会(14:30~14:40) 4号館 大ホール

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		8号館 201	8号館 203	8号館 303	8号館 304	8号館 402	8号館 403
第1発表	15:00 15:40	コーパスを利用した動物メタファーの分析 歳岡冨香(大阪大学[院])	The interactional function of <i>think/feel</i> verbs in Chinese Conversation 遠藤智子(UCLA/東京大学[院])	Middle and Tough Constructions in Web Advertising 坂本真樹(電気通信大学)	A usage-based approach to Japanese dative subject predicate 増田恭子(ジョージア工科大学)	OEDを使った英語オノマトペの数量分析: 動詞を中心に 菅原崇(北海道大学[院])	トートロジーと主観性について 阿部宏(東北大学大学院)
	15:40 16:20	身体部位「口」の意味拡張: 日本語とタイ語の比較 ラダブーン サイソンプーン(大阪大学[院])	決定木を用いた多義語分析: 多義動詞「出る」を例に 李在鎬(情報通信研究機構)・伊藤健人(群馬県立女子大学)	複合動詞の構文的意味拡張に関する一考察 野田大志(名古屋大学[院])	日本語における格の体系化と認知的分節機能 菅井三実(兵庫教育大学大学院)	包括的格理論をめざして: 分裂能格型/三立型格組織を中心に 中村渉(東北大学大学院)	同語反復表現「XといえはX」におけるカテゴリー化について 野呂健一(名古屋大学[院])

休憩(10分)

第3発表	16:30 17:10	拡張(extending)と精密化(elaborating)-日本語詩への認知意味論的アプローチ 村田拓也(成蹊大学[院])	「あがる」と「のぼる」, 及び「おきる」, 「さがる」「くだる」「おちる」の意味分析 太田真由美(名古屋大学[院])	メトニミーとしてのタガログ語「主要部無し関係節」 長屋尚典(ライス大学)	通過を表す動詞passと前置詞句 出水孝典(立命館大学)	百科事典的知識に対する構成原則の提案 日本語名詞句の特定・不特定分析への応用を例として 山口慶太(北海道大学[院])	「どっこいしょ」はどのような認知カテゴリーか 有働真理子(兵庫教育大学大学院), 高野美由紀(兵庫教育大学大学院)
	17:10 17:50	文芸批評に見られる認知言語学的特徴-小林秀雄を例に- 守屋三千代(創価大学)・高山京子(創価大学)	動詞意味構造の周辺的情報が果たす役割について: 「open」と「あける」の比較語彙意味研究 植田正暢(福岡女学院大学短期大学部)	介在性表現の分析-非自立型メトニミーとして- 山本幸一(名古屋大学[院])	帰結節を伴わないIf節の発話機能: その解釈スキーマと語用論的変数 横森大輔(京都大学[院])	概念のインスタンス化と特異クラスについて 長谷部陽一郎(同志社大学)	「間投詞」を認知語用論的に捉えなおす 宮浦国江(愛知県立大学)

懇親会(18:00~20:00) 10号館 12階ホール

* 書籍展示は、両日とも8号館ロビー